

# 株式会社セッションナブル



代表取締役  
梶屋 陽介 氏

## ◆企業の概要

企業名：株式会社セッションナブル  
代表者：代表取締役 梶屋 陽介  
住所：仙台市青葉区一番町二丁目7番地3  
ベアービル2F  
設立年：平成26年  
業種：エレキギター製造・販売  
資本金：20百万円  
従業員数：6名

## ◆事業の概要

東日本大震災を機に代表者が起業し、エレキギターの企画・製造・販売を行う。東北の素材、技術、知恵を詰め込んだオリジナルギターを開発、被災地女川の工房で製造し、女川発の新ブランド「QUESTREL」(ケストレル)で海外展開を目指す。



本社兼店舗



GLIDE GARAGE (工房、女川)

# 東北の素材、技術、知恵を詰め込んだオリジナル ギター「QUESTREL」を開発、女川で製造し 海外展開を目指す



工房内作業の様子



新ギター「QUESTREL」



宮大工伝統の組木技術

## ◆受賞の理由

一般に普及しているエレキギターのデザインは、世界中でおおよそ5種類に集約されるが、長期間変化がなく、差別化は難しい状況にある。また、素材に関しても、国内の製造現場では輸入木材が長らく使われており、中長期的には入手が困難となる可能性をはらんでいる。

そのようなエレキギター業界において、当社が企画・製造・販売するギター「QUESTREL」は今年11月の販売開始で、①素材となる木材は東北のヒノキやシナ、ホウノキを組み合わせたもので新しい音質を生み、東北大学金属材料研究所が開発したコバルト合金「コバリオン」を用いた金属パーツを使用することで弾いた瞬間の音の立ち上がりと弾いた後の音の伸びが向上、②ギターのネックとボディーの結合方法は既存のボンドやネジによる結合ではなく、岩手県気仙地方で受け継がれる宮大工の伝統の組木技術を活用することで、脱着を容易にするとともに音の振動性が向上、③フェラーリや北陸新幹線等のデザインで知られる、山形県出身の世界的デザイナー奥山清行氏による世界で6番目を目指した斬新なデザイン、等の東北の叡智を結集した魅力的でユニークなオリジナルギターと大いに期待されている。また1本30万円程度と希少なブランドながら手が届く価格設定は、市場人口の約6割を占める、2本目、3本目を求める中上級者層をメインターゲットとする戦略として高い事業性も期待される。

さらに当社の女川のギター工房は観光客が見学でき、今後ギター製作体験を計画する等観光資源として被災地女川の交流人口の増加を目指しており、地域復興の活動として支持されている。

東北地方の魅力を活用したギター工房というユニークなものづくりのビジネスモデルで、水産業が中心の町に製造業という新しい産業と雇用の創出を目指す取り組みは高く評価できる。女川発の新ブランド「QUESTREL」で世界を目指す、今後大きく飛躍が期待される企業である。